

うた ひつじの詩だより

2010.9.1
毎月発行 No.114
この夏はご注文の品と
いっしょにお届けします

毎朝水やりするたびに、あと一息、もうすぐ涼くなるはず、と鉢植えの花たちと自分に言い聞かせています。日中の気温はまだまだ高いとはいえ、朝夕の風の中にはもう秋の気配が含まれているのを感じます。

さあ、新学期！家族のお昼の支度がなくなった開放感を味わいながら、また新しい気持ちで手仕事に向かいましょう！

「ウォルドルフ人形展」

9月5日(日)～7日(火) 10:00～21:00 最終日は19:00まで
ぱふあべの店 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-5-1 ルシアス東館2F
★「くるみの赤ちゃんミニ講習会」5日(日) 11:00～12:00、13:00～14:00の2回
お問い合わせ・お申し込み TEL&FAX: 06-6634-8140 担当: 中野久仁子

「ウォルドルフ人形の四季」 ～2009 スウェーデン大使館作品展より～

9月17日(金)～19日(日) 10:00～17:00 (初日のみ11:00～) 担当: 原田保子
福岡市赤煉瓦文化館 福岡市中央区天神 1-15-30 TEL: 092-512-6095 (つみきや)

「ウォルドルフ人形と羊毛の手仕事展」

～ 佐々木奈々子と仲間たち ～

日時: 2010年10月9日(土)～2011年1月16日(日)

会場 富山県射水市黒河 県民公園太閤山ランド内 富山県こどもみらい館2F
11月28日(日) ワークショップと佐々木奈々子のギャラリートーク

富山県こどもみらい館の基本理念は「発見と創造」。活動テーマは「集い 遊び 学ぶ」です。この理念とテーマに触発され、すばらしい施設の一角をお借りして、富山県で初めてのウォルドルフ人形作品展を行えることは、大きな喜びです。合わせて通信講座「ペレの学校」と、子どものためのワークショップ「ペレのこひつじ」をご紹介します。スウェーデンひつじの詩舎について、できるだけ多くをご覧いただける作品展にしたいと考えています。一同、わくわくしながら企画・製作中です。

お近くの方も、少し遠い方も足をのばして、是非会場へお越しください！

ワークショップ ウォルドルフ人形と羊毛の手仕事

朝日カルチャーセンター新宿にて、10月から6回連続の講座がスタートします。前半の3回でウォルドルフ人形C体(40cm大)の人形の本体を仕上げ、後半は人形の洋服作りをします。羊毛やガーゼなどを使って、縫うだけにとどまらずフェルティングの技法なども用いて、この人形によく似合う、作りやすい工夫を凝らした服を提案したいと思います。どうぞ、お楽しみに！

《お問い合わせ:朝日カルチャーセンター新宿 TEL:03-3344-1947/03-3344-5450》

スウェーデンひつじの詩舎直営店「スペース ペレのあたらしいふく」の9月の開店日は1日(水)～15日(水)(日曜日を除く)、営業時間は10:00～16:30です。どうぞよろしくお願いたします。

「こひつじスウェーデンへ行く」 ～その1～

この夏(8月9日～16日)、「ペレのこひつじ」(子どものためのお話と手仕事の会)スタッフ3名(上野、安山、池上)でストックホルムを中心にスウェーデン旅行をしてきました。初めは手工芸の1日ワークショップなど、体験ができたという希望でしたが、行ってみたい手工芸学校は短期でも5日間のコースしかなく、1週間以上の滞在は日本に残る家族のことも考えるとむずかしく、その結果3人の行きたいところ3ヶ所に絞って自分達で計画することになりました。

その1つめは、ダーラナ地方のムーラという町にある、スウェーデンの民芸品として有名なダーラヘストの工場を訪ねることです。ムーラまでは、SJというスウェーデンの国鉄に乗って約4時間、日本でいえば新宿から「あずさ」に乗って信濃大町へ行く感じです。



このSJの車窓の風景を見ただけでもスウェーデンらしさを実感できます。木々に囲まれた白い縁取りの赤い家、馬や牛のいる放牧地、白樺や松などの森、湖、サマーハウスと思われる湖のそばの家にある小さな棧橋、木を斜めに組んだ柵、どれもこれも「三びきのやぎのがらがらどん」、「ペレのあたらしいふく」、「おりこうなアニカ」、「ちいさな魚」などでおなじみの風景です。この風景を実際に自分の目で確かめられただけでも来た甲斐があったなあと思いました。

お目当てのダーラヘスト工場は、2つ向かい合って建っていて、それぞれ兄弟が経営しているそうです。大きなダーラヘストが私達を迎えてくれました。中ではダーラヘストのペイントや、ナイフで削って形作るところのデモンストレーションをやっていました。木屑やペンキの匂いを感じながら、工場

見学もそこに直営店での買い物にはしてしまいました。大小様々、色とりどりのダーラヘストに目移りし、他の民芸品もしっかりと抱え込んで、大きな袋いっぱいのお土産を手にしてきました。

この工場とムーラを往復するのにもいろいろありましたが、ムーラの駅はまったくの無人駅でカード決済の券売機が駅舎の中に1台あるだけで、切符を買うのにも一苦労ありましたが、なにはともあれ無事に行ってきたのです。

今回の旅では、奈々子先生が暮らして魅了されたスウェーデンという国をわたしも大好きになりました。夏のほんの1週間でしたが、スウェーデンの一端を知り、わたしの見た景色は秋はどうなる?冬は?ロシア祭は?夏至祭のころは?春の訪れのイースターの頃は?今回行かなかった南のほうは?もっと北は?とまた訪れたい気持ちがたくさんわき上がる旅でした。スウェーデンで出会った人はみな親切でこれからも事あるごとに思いだされ、ますますうれしい気持ちになりそうな気がします。

この旅は上野さん、安山さんなしでは行ってこれなかったと思います。また、スウェーデンに行くことをすすめてくださって、最後まで心配してくださった奈々子先生がいらっしゃらなかつたら実現しなかったと思います。本当にありがとうございました。そして、また行きましょう！

ペレのこひつじ担当 池上洋子(横浜市旭区在住)

注:ダーラヘスト・・・スウェーデンのダーラナ地方でうまれた木工芸品の馬。他に豚や鶏のものもある。

写真:上から順に ①ムーラへ向かう車窓から ②ダーラヘスト工場前 ③ダーラヘストペイント実演



♥ スウェーデンひつじの詩舎 ♥

スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2

TEL&FAX 045-881-6900,6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708

相談窓口(金) 寺田裕子 045-881-7035

スウェーデンひつじの詩舎のホームページ

<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

編集担当 佐藤治子